

こみゆにていー戸隠

戸隠地区住民自治協議会広報 第44号

戸隠地区住民自治協議会事務局
〒381-4102 長野市戸隠豊岡1554
Tel: 254-2490 Fax: 254-2327
e-mail: togakusi-juumin@tgk.janis.or.jp

発行者：戸隠地区住民自治協議会長 山口 和男
【令和2年12月発行】

各事業の活動報告

地域振興委員会 市長を迎えて「戸隠地区ながの未来トーク」

11月17日、戸隠農村環境改善センターで「戸隠地区ながの未来トーク」が開催されました。「ながの未来トーク」は、加藤久雄市長を迎え、地区の課題等について自由に意見交換する場ですが、今年度「戸隠百年構想」として、団体の目的や想い、「空き家対策」「コミュニティ広場づくり」について、活動発表の場を設けていただきました。

戸隠が直面する人口減少は、将来的に自分達の生活や産業に大きな影響をもたらすことが予想されます。市町村合併当時4,800人であった戸隠の人口は、10月現在3,300人余となってしまいました。また、5件に1件が空き家という状況です（この場合の空き家は「常時人が住んでいないとみられる」という定義）。

こういう状況を深刻にとらえ、「空き家問題への取り組み」や「子育ての環境、コミュニティの場づくり」が、今後大きなキーポイントとなっていくと考え、活動や提案について、短い時間ではありますが、発表いたしました。

当日は、加藤市長をはじめ、ご来賓、市関係者を迎え、地区の皆様に参加していただき、思いを伝えることが出来たと思います。

そもそも、「戸隠百年構想」は、戸隠の未来を考えるためにはじまった戸隠の若者を中心とした団体です。「百年先も人々が幸せに暮らす戸隠」をめざし、地域の良さを磨き残していくため、今何ができるか、何をすべきか、考え話し合い、想いを行動につなげていく事をテーマとしています。

なぜ「百年先」かということ、百年後に主役になっているのは、自分たちの孫やひ孫です。自分を見ることはできないけれど、今何かをしなければ、その百年先もないかもしれない。言いかえれば、「今何かをすることが、百年先の世代が、生き生きと幸せに戸隠で暮らすことにつながるのではないか」と考えているからです。

今回の未来トークでは、住自協や支所と連携して、移住定住につながる空き家対策への取り組みが必要であること、「子供たちが全力で遊び、学び、友達づくりができる」コミュニティ広場づくりへの応援など、課題に対する前向きな意識が共有できたと思います。

「戸隠百年構想」は、若者だけの集まりでも、一部の地域の集まりでもありません。

老若男女どんな人でも、戸隠、豊岡、栃原、祖山、どこの地域でも、百年先の暮らしを見据え楽しみながら活動をする団体でありたいと考えています。

今後も、どうぞよろしくお願いたします。

戸隠百年構想 松澤



【これからの地域をどう運営するか】

地域振興委員会委員の研修会が、長野市住民自治連絡協議会第5ブロック(戸隠・芋井・鬼無里)地区合同研修会に合わせ、11月1日“人と組織と地球のための国際研究所”代表 川北秀人氏を講師に、戸隠農村環境改善センターで開催されました。研修テーマは「これからの地域をどう運営するか～住民自治協議会の役割～」です。

人口減と高齢化が進む中、芋井地区からは「安全・安心な地域づくりに向けて」、鬼無里地区からは「次の世代に住みよい地域を継承したい」、戸隠地区からは「ずっと安心して住みやすい戸隠を創る」、等各住民自治協議会の取り組みについて発表の後、川北氏からそれぞれの地区ごとにコメントをいただきました。

その後、川北氏から住民自治協議会には、「多様な住民参加を促すためにも、意見・ニーズを積極的に聴き(調査)、実践を通じ育てる体制(部会・委員会)の継続的な見直し」が必要不可欠との話をいただきました。

また、アンケート調査は内容によって世帯主だけでなく、中学生以上全ての住民を対象に行う必要があることや人口減と高齢化に備え、行事(福祉と経済へ)・会議(話す・調整するより現場で動く)・組織の棚卸し(見直し)が必要とのご示唆もいただきました。これは、人が大勢いた昭和の活動を継続していないかというそんな問いかけでもありました。

今年8月から住民自治協議会役員と支所が各区に出向き、区の役員の方々と地区懇談会を実施しています。これは、各区の年齢別人口、戸数推移と平成30年に実施した「支え合い地域づくり」アンケートを基に、住民主体による課題解決にむけて意識の醸成と人材の発掘を目指し行っているものです。

そんな中で、地域振興委員会ではどんなことができるのか、模索し、実施して行きたいと考えています。

地域振興委員長 西 慎一郎



講演する川北さん



真剣に講演を聞いています

10月25日(日)、小学校の体育館で第9回子どもフェスティバルが行われました。小中学生の実行委員9人と当日参加の小学生21人、保育園児保護者11人が集まって半日、楽しく過ごしました。

主催は住民自治協議会、共催はとがこしこ応援団となっていますが、子供達が主役となって企画運営が出来るよう、夏に実行委員を公募し、当日までに5回の話し合い、準備をしてきたようです。

縦割り班による団体ゲーム「トガクシクイズ」「ピクチャーしりとり」個人戦では、「新聞紙から落ちるな!!」「オリンピックピンゴ」など頭と体を使ってやる工夫された七種目を全員が力を合わせて楽しみました。

賞品やおやつを住自協から用意していただいてみんな幸せ。

中学生の大会長さんが「みんなが楽しんでくれて良かった。」と、晴れやかに挨拶をして終わりとなりました。

青少年育成委員 山中 悦子



ゲームを楽しむ



グループで作戦会議

『お笑いで学ぶコミュニケーションのヒント』

拍手は顔の前で。みんなで気持ちを合わせて。令和2年度青少年健全育成推進大会は、そんなアイスブレイクで幕を開けました。講演者は、新潟県を中心に笑い芸人として活動する傍ら講演会や本の執筆など幅広く活躍されている高橋なんぐ氏です。

「見方を変えれば味方になる」をテーマに、街中の看板や人の言動など、ちょっと視点を変えるだけで人生はこんなに面白くなる、という魅力的なコツやヒントが満載で、会場は終始笑顔がいっぱい。2年半かけて世界一周をされた経験から、英語学習の大切さという内容も折り込みつつ、未知の世界との出会いを通して学んだ「当たり前は当たり前じゃない」「世界に自分と無関係なものなどない」「出来ない理由を探すより、どうやったら出来るかを考える」など深いメッセージを熱く語っていただきました。

後半は、ユニオンジャックのような形から漢字を見つけるゲームを通して見方を変える実践練習もあり、会場中が一体となって楽しむことができました。最後は「同世代で同じ時期に同じ地域で同じものを見ているという出会いもスゴイことだから、それも大切に」と身近な奇跡にも目を向けさせる言葉で締めくくって頂き、笑いあり学びありの貴重な時間となりました。

青少年育成委員 市川 典子



熱弁するなんぐさん



講演に拍手

地域たすけあい事業について

地域たすけあい事業ご存知ですか…。

こんな時



- ・運転免許証返したらどーやって医者に行ったらいいだえ。
- ・バス停まではもう歩いちゃいかねえ〜。
- ・ゴミ出しの場所が遠くて出せねえ〜な〜



など、ちょっとしたお困り事は地域の協力員さんの力で解決出来る事もあります。

それぞれ決まり事もあるので、まずはお電話を

☎ 254-2490

戸隠地区住民自治協議会内
地域たすけあいコーディネーター 小池まで



自宅から病院まで送迎する「とがくし号」



協力して下さる方も募集しています

祝
卒業

地域おこし協力隊

西濱 芳子 隊員

『3年間を振り返って』

2020年8月末に戸隠地区の地域おこし協力隊の任期を終えました。任期後は、竹細工の森の整備や竹採り、竹細工・竹割教室の開催、遠方の仲間とオンラインを使っでの学習会など充実した毎日を過ごしています。

私にとって協力隊の3年間は、沢山の壁にぶつかりながら変化をした期間でもありました。それは戸隠での暮らし、文化、そして戸隠竹細工を沢山の方と共有する中で、互いの考え・大切にしたいこと・思いの強さ・愉しさの根っこの違いが、多方向に多進度に広がりを沢山の時間の中で知り、その違いを面白いと思えたからです。特に、自然と共に山仕事を愉しむことを教えてくれた竹細工職人の方々の時間は、何よりも心を温かくしてくれる大切なものです。

今、戸隠での新たなスタートを安心して切ることができるのは、協力隊の期間中も、退任後も変わらず一人の「人」として迎えて下さる方々の存在があるからです。本当に3年間ありがとうございました。



歓迎

地域おこし協力隊

高橋 理絵 隊員

こんにちは戸隠地区地域おこし協力隊の高橋理絵です。

私は今年の1月から戸隠地区の観光振興を主なミッションとして、活動を行っています。数年前、初めて観光で戸隠を訪れた際に、自然豊かな戸隠の姿に魅了されて以降、何度も訪れるくらい戸隠が好きになりました。そうしているうちにご縁があり、地域おこし協力隊として着任する運びになりました。

日々の生活がとても新鮮で、着任して早々慣れない雪国での生活に苦労しましたが、変わりゆく四季の移



ろいに感動し、地のもの、旬のもののおいしさに驚きました。山菜や、きのこの下処理に初めて挑戦してみたり、なんてことない日常の中で少しずつ戸隠の人間になってきているな、と実感しています。

仕事の面では着任して月日が経たない間に新型コロナが流行し、戸隠の観光も大きなダメージを受けた中で『そば博物館とんくるりん』のサポートをしてきました。戸隠そばの奥深さやそば打ちの面白さを、身をもって感じながら作業しています。

今年度からとんくるりんでは、くだもの市を行うなど、観光客の方だけでなく、地元の方にも立ち寄ってもらえるような取り組みを行っています。ぜひお気軽にお越しください。

今後も戸隠での生活を楽しみながら、戸隠が好きという気持ちを忘れずに活動して行きたいです。

編集
後記

令和2年が終わろうとしています、今年はコロナウイルス感染で始まり一年間収束することなく色々な行事や大会などが、中止や延期になり寂しい年になりました。一刻も早く治療薬などが開発され、感染を恐れる必要がなくなり、元の生活に戻ることができるよう願うばかりです。

寒い時期に向かいますが、体をご自愛し良い年をお迎えください。

事務局